



江別市
から参加

野幌太^{のつほろだいだい}神楽

「野幌太^{のつほろだいだい}神楽」は、新潟県三条市から野幌地区に入植した人たちによって伝えられた、百年以上の歴史がある舞です。笛や太鼓の伴奏で、とても風雅に踊られるこの舞は、伝統を守ってきた保存会と、江別の文化を伝えようと平成七年に結成された伝承会によって、野幌神社のお祭りやイベントなどで披露されています。二十の舞が保存されており、江別市の無形民俗文化財にも指定されています。

北広島市
から参加

中^{なか}野^の七^{なな}頭^ず舞^{まい}

開拓や農作業の様子をあらわす「中野七頭舞」を舞ったのは、「西の里民舞を踊る会」の皆さんです。江戸時代から若手県岩泉町に伝わる「中野七頭舞」を見た同会代表の成田寛^{なりたひろし}さんが、地域に伝えたいと考え、「中野流西の里七頭舞」として舞い始めて十年がたちます。七種類の道具と演目からなるこの舞は、地域の舞として、西の里神社のお祭りなどで踊られています。



ハイ、チーズ



各連合町内会の皆さんによる飲食コーナー。どの売場も長蛇の列ができました



シロップを混ぜて出来上がり!



シューシュー



ドン!



お米をセットして...

昔ながらのお菓子
「ばくだん」の実演

